慢性腎臓病の克服に資する基礎的および臨床的研究

旭川医科大学内科学講座循環器・腎臓内科学分野

教授 中川直樹（なかがわなおき）

中川直樹教授は、1997年に自治医科大学を卒業後、旭川医科大学内科学第一講座（現内科学講座循環器・腎臓内科学分野／呼吸器・脳神経内科学分野）に入局し、北海道の地域医療に従事してきた。2002年からは、旭川医科大学薬理学講座でプロスタグランジン受容体ノックアウトマウスを用いた腎線維化機序の研究を行い、2012年からは、米国ワシントン大学（シアトル）腎臓内科へ留学し、遺伝子改変モデルを用いた腎臓の発生および線維化進展における研究に従事した。2014年に帰国後、循環器疾患・腎疾患に関する診療・研究・教育に従事し、2024年、旭川医科大学内科学講座循環器・腎臓内科学分野の教授に就任した。

慢性腎臓病の共通経路である腎線維化進展におけるマイクロRNAの役割解明に関する基礎研究に従事する一方、循環器・腎臓・脳神経内科の領域横断的な臨床研究として、希少遺伝性疾患であるファブリー病のハイリスクスクリーニングを北海道全域で行い、北海道のファブリー病診療の発展に大きく寄与している。また、様々な厚生労働省の班会議・腎疾患政策事業に参加し、難病では一次性ネフローゼ症候群と一次性膜性増殖性糸球体腎炎（C３腎症を含む）を担当し、慢性腎臓病患者の治療と就業の両立支援の研究班では代表を務めた。さらに慢性腎臓病に関する多くの臨床疫学研究、多職種連携体制の構築を推進し、学部教育や大学院教育にも取り組み、次世代を担う人材の育成にも尽力している。

電子メールによる会員への情報提供について
－メールアドレスの登録－

◇情報広報部◇

本会では、インターネットを利用し、電子メールにより緊急性の高い情報を、会員の皆様に送信提供しております。対象は当会の電子メールアドレス利用者全員と他プロバイダの電子メールアドレスをお持ちになっていて、本会にアドレスを登録している会員です。

他プロバイダの電子メールアドレスの登録につきましては、随時受け付けておりますので、是非ご登録いただきたくご案内いたします。

●電子メールアドレスの登録方法

電子メールで、ご氏名、登録メールアドレスを明記のうえ、下記宛お送りください。

・申込先メールアドレス：**add@m.doui.jp**